

お忙しくても、約2分間で読めます

山内公認会計士事務所

ハートフル・ワード (心からの言葉)

TEL 098-868-6895
FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

1970年代の石油危機以来の事態 ケネス・ロゴフ (米ハーバード大学教授)

1. 新型コロナウイルスが今後どんな展開を見せるかは予断を許さない。だが、グローバルな景気後退がすぐそこまで迫っていることだけははっきりしてきた。しかし今回の危機は、2000年以降に世界が経験した2度の不況とはまるで違った様相を呈する可能性がある。実際、1970年代の石油危機以来の事態となっても不思議ではない。
2. 感染国の政府は医療受け入れ態勢の底上げや消費喚起に向けて大規模な財政出動を行うことになるだろうが、当然、そうすべきだ。まさかのときの資金はまさかのときに使ってこそ意味がある。逆にいえば、景気の良いときに野放図に財政を拡張するのが危険なのは、疾病や戦争、天災といった不測の事態に対処できなくなるからだ。
3. しかも、今回の事態は世界経済がふらつき始めているときに起った。2019年の世界経済成長率は2.9%と、歴史的に不況の目安とされる2.5%すれすれだ。すなわち、世界不況の現実味は一気に高まった。政策担当者は利下げや財政出動だけでなく、世界の供給網を襲う巨大なショックにもっと目配りすべきだ。対策として手っ取り早いのは、まず米国が制裁関税を大きく引き下げ、貿易戦争の手綱を緩めることだろう。

(参考:「週刊東洋経済」2020年3月21日号)

経営者のための理念・哲学

資本主義に歯止めかけるのは哲学

佐藤 優 (作家・元外務省主任分析官)

1. 古代ギリシヤの哲学者エピクロスに次のような「幸福感」がある。「不要な欲求」と「必要な欲求」が区別される。健康の維持に、必要な食べ物への欲求は必要だが、グルメ三昧への欲求は不要である。名誉への欲求も不要だ。不要な欲求はもたないのがよい。幸福とは、アタラクシア (無動揺)、すなわち、心身が苦痛でかき乱されていない。静的快の状態である。
2. 資本主義社会は、人間にとって不必要な欲望を刺激し、拡大することによって成り立っている。この調子で人間が地球生態系から搾取と収奪を続けることは危険だ。エピクロスが説くような静的快を多くの人々が求めるようになれば状況が激変する。資本主義の行き過ぎに歯止めをかけるために必要とされるのは哲学と思う。

(参考:「週刊ダイヤモンド」:2020年2月29日号)

新規成長分野

座組 (提携先等) を変える

1. いったん事業化したものの鳴かず飛ばずで、一時は担当者がゼロという憂き目にあいながらも、時を経てヒットにつなげた商品も存在する。パナソニックの戸建て住宅用宅配ボックスがそうだ。家を不在にしがちな共働き世帯の強い見方である宅配ボックス。戸建て住宅向けで、パナソニックは国内シェア5割を誇る。日本の新築戸建て住宅の約1割に採用されている。
2. 歴史は長く、参入したのは旧松下電工時代の1992年。2019年10月には第4弾 (4回目の改善・改良) として施工不要となる商品を投入。用途や顧客層といった戦う場所や時間の壁を乗り越えてよみがえった商品とサービスになった。販売台数は月に数千台規模となり、1年間で5倍の規模に膨らんだ。復活のカギを握ったのは、提携先や組織体制などの「座組」を変えることだ。

(参考:「日経ビジネス」2020年3月2日号)

古典に学ぶ

世に尽くしたる精神と効果で評価する

(解説) 人を評して優劣を論ずることは、世間の人々の好むところであるが、人の真価というものには容易に判定さるべきものではない。真に人を評論せんとするならば、その富貴功名に属するいわゆる成敗を第二に置き、よくその人の世に尽くしたる精神と効果によってすべきものである。

(参考: 渋沢栄一「論語と算盤」: 国書刊行会)